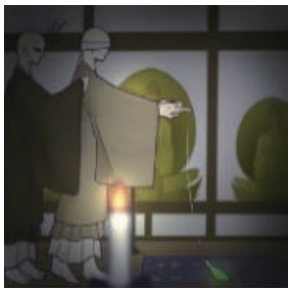
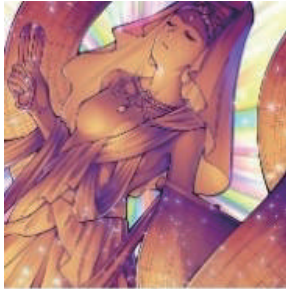
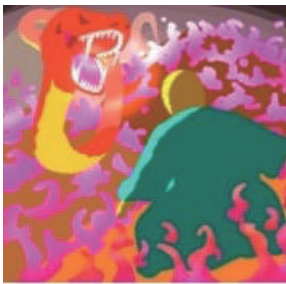
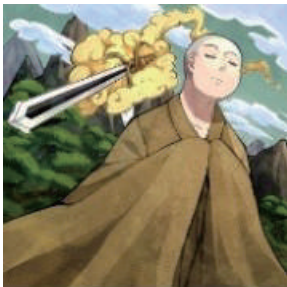
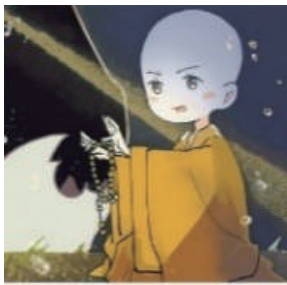
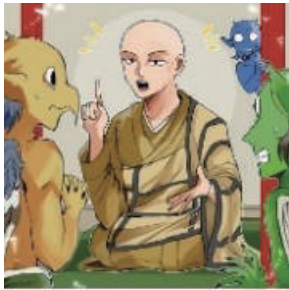
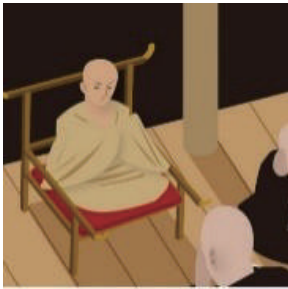
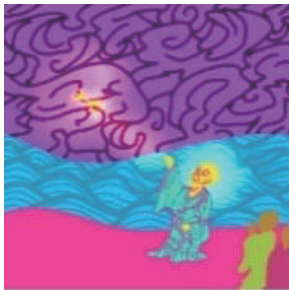


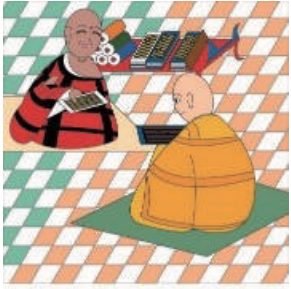
寺番	寺名	記念カード	絵の番号	絵の作者	カードの説明文
1	霊山寺		59	池田涼佑	般若心経で疫病を鎮める 弘仁九年国中に疫病が蔓延。大師はこれを鎮める為に般若心経を皆にすすめた
			28	牧野瑞生	恵果和尚との出会い 長安青龍寺恵果和尚 に大師は「貴方が来るのを久しく待っていた」と迎えられる
2	極楽寺		8	高田萌々子	阿刀大足に漢籍を学ぶ 大師は叔父 の伊予親王の学士阿刀大足 のもと大学入学のため漢籍 を学ばれた
3	金泉寺		45	西村飛馬	西域のみかん天皇に献上 大師は唐 から持ち帰ったみかんを乙訓寺 で栽培 実を摘み嵯峨天皇に献上された
4	大日寺		10	高橋佑桜水	儒学を志すも仏典学ぶ この頃大師十八才 儒学 を志し広く経史 の典籍 を学ぶも仏道の道を秘かに思う
5	地藏寺		29	三好未来	温泉湯治の利益を伝える 大師は諸国を巡って井戸 ため池 道路 橋を作り温泉湯治の利益を伝えられた

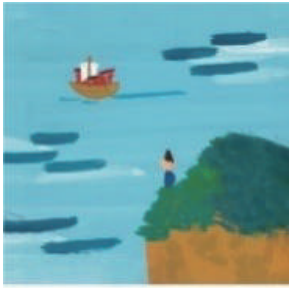
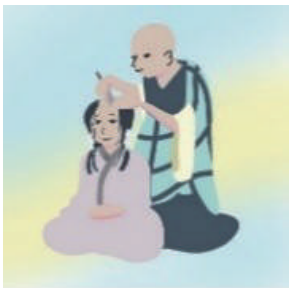
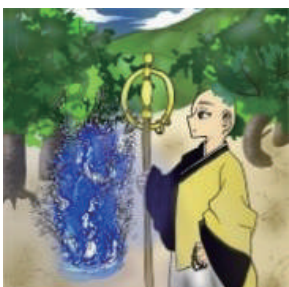
寺番	寺名	記念カード	絵の番号	絵の作者	カードの説明文
6	安楽寺		51	西河健太	温泉湯治の利益を伝える 大師は諸国を巡って井戸 ため池 道路 橋を作り温泉湯治の利益を伝えられた
8	熊谷寺		25	三木ちひろ	大師長安入城の願書 遣唐使長安 入り許されるも大師許されず長官大師を役人として登用するためか
9	法輪寺		20	織田ゆりみ	虚空に経文を書く 弘法大師が伊豆修善寺 で虚空に経文を書くと修行を邪魔する魔物が退散した
10	切幡寺		54	山口陽生	大師に布を施した乙女 大師に布を施した幡織 りの乙女は得度して即身成仏 し千手観音さまになられた
11	藤井寺		48	川口夢叶	いろは歌、仮名の普及 大師の作と伝わるいろは歌四十七文字は子どもが文字を覚える為の手習い歌となる
12	焼山寺		61	高橋空	大蛇悪龍を封じる 大蛇悪龍 が大水や山火事で村に災害をもたらした 大師はこれを洞窟 に封じた

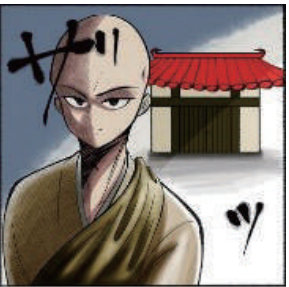
寺番	寺名	記念カード	絵の番号	絵の作者	カードの説明文
13	大日寺		62	高田萌々子	満濃池の修築完成 大師は讃岐満濃池 の築池別当に補 され民衆と共に三ヶ月で強固な堤が完成した
14	常楽寺		27	白川日加里	大師一行長安城へ 長安 の都に向かう遣唐使 一行の装いは立派なもので見物人が列をなしたと伝う
15	国分寺		23	三木ちさと	渡海入唐留学 大師は三十一才の時現在の中国唐の都長安 に留学 命がけでの旅でありました
16	観音寺		58	笠井友希	高野山金剛峰寺の建立 大師は日本にすでに大寺院はあるが高山峻嶺 に修禅道場が必要と高野山を開創
17	井戸寺		60	木村優花	一夜建立の井戸 大師は水不足に悩む村人のために一夜で井戸を掘られた この村を井戸村と伝う
18	恩山寺		47	織田ゆりみ	庶民の為の学校を設立 大師は身分によらず学べる我国で最初の私立学校 綜芸種智院 を都に創立された

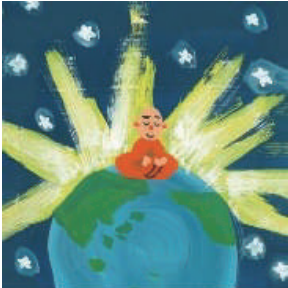
寺番	寺名	記念カード	絵の番号	絵の作者	カードの説明文
19	立江寺		57	泉川結衣	高野山三鉤の松 高野山の葉が三つ又の松は大師が帰朝時に投じた三鉤がかかった松と伝承さる
20	鶴林寺		82	三好未来	自動車遍路の時代くる 昭和二十八年に巡拝バスが始まる 高齢者 体の弱い人にも遍路が可能な時代に
21	太龍寺		15	山口陽生	求聞持の修行 大師 三教指帰 に阿波太龍嶽 での谷が響く効験を記す 又宝剣壇上 に降ると伝う
22	平等寺		30	山口陽生	恵果より大曼荼羅を賜う 恵果和尚 は密教を伝えるには金胎两部大曼荼羅 が日本に必要と大師に贈られた
23	薬王寺		87	千葉七衣	人生は遍路なり お遍路の旅は日常を離れ 自分を開放して静かに人生を見つめ直す修行の旅です
24	最御崎寺		16	岡日菜	室戸で悟りを開かれる 大師の著書三教指帰 の中で土州室戸の崎で明星が来影する効験が記されている

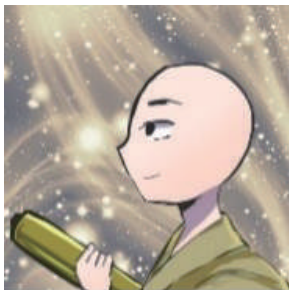
寺番	寺名	記念カード	絵の番号	絵の作者	カードの説明文
25	津照寺		81	牧野瑞生	中務茂兵衛の道標石 茂兵衛さんは道標石 二百三十七基建立 巡拝回数二百八十回 生き仏と言われる
26	金剛頂寺		19	宮下日菜子	天狗、魔物と問答 金剛頂寺の森で大師が修行を妨害する天狗 魔物と問答され従わせたと伝う
27	神峯寺		71	西村飛馬	高野山奥之院御入定 高野山奥之院の窟 に入られー 御真言 のお声止 む 大師 六十二才三月二十一日
28	大日寺		37	高橋空	明州から三鈷杵投げる 帰朝時大師は三鈷 を投げ 独鈷 は四国 三鈷は高野山 五鈷 は東寺 に届いたと伝う
29	国分寺		67	岡奈津子	大師宮中で雨を祈る 大師の祈雨 法は長安青龍寺 の恵果和尚譲 りで仏舎利を置いて祈られ効験多なり
30	善楽寺		32	秋山小姫	恵果入滅碑文を選す 恵果和尚 は大師へ密教の伝授を終るや入滅され 大師は選ばれて碑文を選した

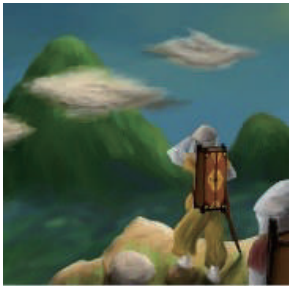
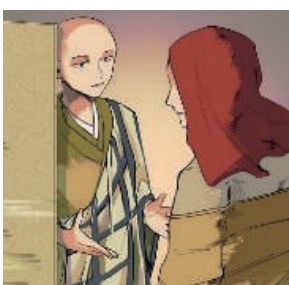
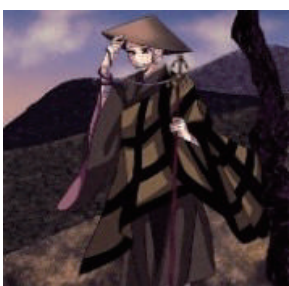
寺番	寺名	記念カード	絵の番号	絵の作者	カードの説明文
31	竹林寺		63	大西伶奈	教王護国寺東寺を賜る 大師は嵯峨 天皇より京都の正門を守る東寺 を賜り教王護国寺 と命名されました
32	禅師峰寺		26	西河健太	唐の皇帝からの迎え 正式な遣唐使 の一員と認められ大師は皇帝からの迎客使 に手厚くもてなされた
33	雪蹊寺		77	黒崎綾花	江戸初期のお遍路の姿 四国遍礼功德記 (1690年) には菅笠 負儀姿 の遍路の絵図が残されている
34	種間寺		84	鉢峯尚明	善根功德のお接待 四国遍路をねぎらうお接待 最近はシルバー大学等団体のお接待が多くなった
35	清瀧寺		36	木村優花	梵字・瑜伽を学ぶ 長安 に着くと大師は最初に印度出身の般若 や牟尼室利三蔵から梵語を学ばれた
36	青龍寺		38	大西伶奈	独鈷杵は四国に届く 帰朝の時 大師が投じた三鈷 の内 独鈷 は土佐に届きお四国は大師の聖地となる

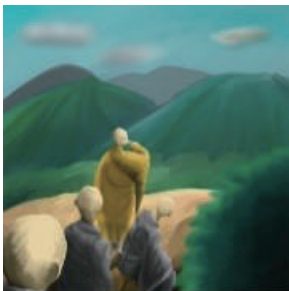
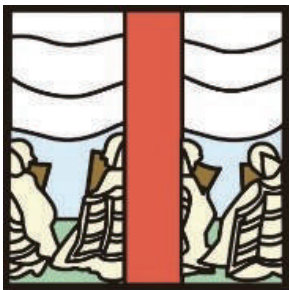
寺番	寺名	記念カード	絵の番号	絵の作者	カードの説明文
37	岩本寺		52	牧野瑞生	年に三度実のなる栗 旅の大師に子供が栗をさしあげた　するとその栗は年 に三度なるようになった
38	金剛福寺		76	三木ちさと	補陀落渡海の行者 四国や熊野の辺路 は観音浄土に近いとされ足摺岬 等が 補陀落渡海 の聖地となる
39	延光寺		13	谷渕葉奈	勤操大徳を師とす 大師この頃 岩淵 の勤操 大徳を戒師として 槇尾寺 で出 家名教海 をいただく
40	観自在寺		49	黒崎綾花	杖立て弘法清水湧出 大師が杖を立て真言 を唱え加持 すると清い水が湧いた 話が各地に伝承されている
41	龍光寺		22	川口夢叶	久米寺大日経と出会う 大師が窮 して東大寺大仏に祈ると久米寺 に大日経あり —とお告げありました
42	佛木寺		73	織田ゆりみ	弘法大師号を賜る 御入定 後八十七年 醍醐 天皇より弘法大師の諡号 を賜 り お衣が替えられた

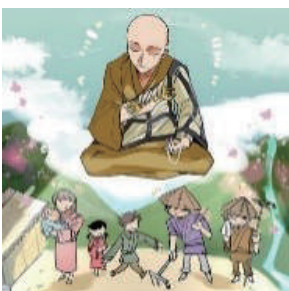
寺番	寺名	記念カード	絵の番号	絵の作者	カードの説明文
43	明石寺		41	岡奈津子	弘法も筆の誤り 大師は宮中内裏 の応天門 の額に点を入れ忘れて書かれ 筆を投げて点を打たれた
44	大寶寺		33	泉川結衣	再生の時は弟子となる 恵果和尚 は入滅後 大師に「お前の弟子となって生まれ かわる」と告げられた
45	岩屋寺		75	川口夢叶	梁塵秘抄、四国の辺道 梁塵秘抄（1157年）に 衣は何時 となく潮垂れて四 国の辺道を踏むとあり
46	浄瑠璃寺		11	千葉七衣	私度僧空海 大師十九才 大学を退学し私度僧 となって吉野や四国の 辺地 を巡り修行される
47	八坂寺		21	鉢峯尚明	我拝師山釈迦影現 大師が善通寺に近い五岳山で御修行中 釈迦が現れたこ の山を我拝師山 という
48	西林寺		74	鉢峯尚明	今昔物語、四国の辺地 今昔物語集（1108年）には四国辺地 伊予 讃岐 阿 波 土佐海辺の廻りとあり

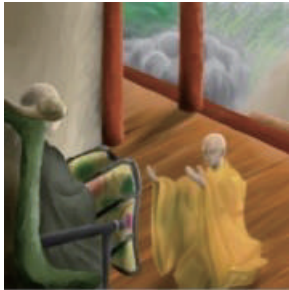
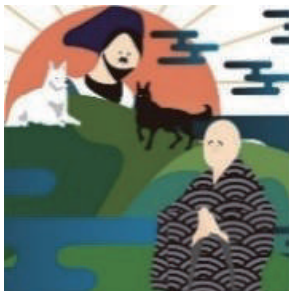
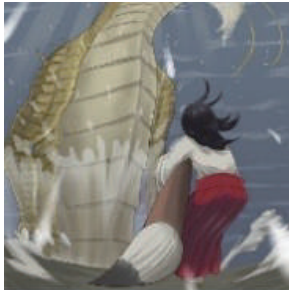
寺番	寺名	記念カード	絵の番号	絵の作者	カードの説明文
49	浄土寺		43	前田惟佐	東大寺別当就任、蜂退散 大師は東大寺別当 に就任 それまで東大寺で人々を刺していた蜂が出なくなった
50	繁多寺		14	前田惟佐	東大寺で受戒 大師三十一才 入唐の前に正式に東大寺の戒壇院 で具足戒 を受け空海と改名
51	石手寺		65	千葉七衣	右衛門三郎の発心譚 悪行の人も悔 い改めれば救われる 右衛門三郎 は四国遍路元祖と伝承されている
52	太山寺		80	西河健太	四国遍路の中興真念 真念 は四国辺路道指南 (1687年) 四国徧礼霊場記 四国徧礼功德記 を出版
53	円明寺		3	泉川結衣	夢で仏と語らう 大師は御幼少の砌 貴物 と言われ夢の中で蓮華の上で仏と語らわれたという
54	延命寺		86	三木ちさと	残らず救い尽くす御誓願 悩み苦しむ人をもらさず救い尽くす これが弘法大師の同行二人の御誓願 です

寺番	寺名	記念カード	絵の番号	絵の作者	カードの説明文
55	南光坊		53	三好未来	橋の上で杖をつかず 大師が寒い夜橋の下で休まれることもあったと聞き 遍路は橋上 で杖をつかない
56	泰山寺		42	谷渕葉奈	清涼殿、即身成仏を実証 諸宗の僧から即身成仏 を疑われたので大師が秘観 を凝らすと大日如来に変身！
57	栄福寺		64	高橋佑桜水	神泉苑で雨乞い成就 大早魃 の時天皇の命があり 神泉苑 で大師が祈ると善女竜王 が現れ雨を降らせた
58	仙遊寺		9	大西伶奈	都の大学に入学さる 大師十八才 都の大学に入学 蛭雪 の功を積み学業成り見事な文章を書かれる
59	国分寺		12	岡奈津子	三教指帰を著す 大師二十四才 聾瞽指帰（三教指帰）を著さる 出家の決意を内外に示された
60	横峰寺		5	池田涼佑	四天王に守られて 大師は御幼少の砌 神童 と呼ばれ四天王が四方に天蓋を懸 け守られたという

寺番	寺名	記念カード	絵の番号	絵の作者	カードの説明文
61	香園寺		78	三木ちひろ	法親王四国御巡行 天皇の弟公空性法親王 その甥 の尊性法親王 四国御巡行総勢四十名(1638年)
62	宝寿寺		1	五百森史敬	遍路のルーツ辺地修行 四国八十八ヶ所の遍路のルーツは有史以前の日本列島の辺地修行 にあります
63	吉祥寺		24	黒崎綾花	遣唐大師嘆願の代筆 遣唐使 一行は福州に漂着 海賊と間違われるも大師の嘆願書の代筆で救われる
64	前神寺		17	西村飛馬	石鎚山で御修行 大師の著書三教指帰 に伊予の国石鎚山 で雪に遇って断食をしたと記されている
65	三角寺		46	宮下日菜子	最澄師に灌頂を受ける 大師は神護寺 で最初の灌頂 を打たれる 天台宗の最澄師も授者の一人であった
66	雲辺寺		50	白川日加里	四国霊場御開創 お四国は弘法大師御誕生 御修行 成道 の聖地で四十二才の時御開創されたと伝う

寺番	寺名	記念カード	絵の番号	絵の作者	カードの説明文
67	大興寺		39	高橋佑桜水	請来目録を朝廷に提出 大師は唐から仏教の一部でなく全体（密教）を持ち帰られ朝廷に目録を提出された
68	神恵院		69	前田惟佐	門人に御遺告を残さる 大師は六十一才 吾れ永く山に帰らん と遺告 され木食 禅定 の生活に入られた
69	観音寺		83	山口陽生	徒歩道中が遍路の原点 平成十年頃日帰り遍路が増える中 徒歩遍路も増え 自分 探しの旅が話題になる
70	本山寺		55	五百森史敬	高野山の地を賜る 大師が修禅の道場の地として賜った高野山は青年の日の思い出の地であった
71	弥谷寺		7	高橋空	学問に励まれる 大師御幼少の頃 八国寺（弥谷寺）の獅子窟 の薄暗い灯 明の明かりで御勉強さる
72	曼荼羅寺		66	高田萌々子	東寺講堂に立体曼荼羅造立 大師は東寺講堂に日本列島の宗教を立体曼荼羅 で表現 国宝となり残されている

寺番	寺名	記念カード	絵の番号	絵の作者	カードの説明文
73	出釈迦寺		6	木村優花	御年七才捨身誓願 大師七才 捨身ヶ嶽 より身を投じ誓願 された その時 天 女降 り抱きとめられる
74	甲山寺		4	笠井友希	泥で仏を作り遊ばれる 幼い頃の大師は遊びにも泥土で仏像を作り 草木でお堂 を造り遊ばれたという
75	善通寺		2	秋山小姫	御誕生御幼名は真魚 印度 の聖人が飛来 母君の懷 に入る夢を見て御懐妊 大 師 善通寺で誕生さる
76	金倉寺		72	宮下日菜子	衆生済度の御遺告 御入定 は大師の最期の御修行 これにより永遠の同行二 人の救済者となられた
77	道隆寺		18	織田ゆりみ	室戸岬で悪竜を伏す 法性 の室戸と聞けど我が住めば有為 の波風寄せぬ日ぞ なき一空海悪龍 と戦う
78	郷照寺		68	谷渕葉奈	宮中真言院で正月御修法 大師は宮中真言院 で玉体安穩万民豊楽 の後七日御修法 を修され今に続いている

寺番	寺名	記念カード	絵の番号	絵の作者	カードの説明文
79	天皇寺		85	三木ちひろ	同行二人・大師とともに 行 くも帰 るも止 まるも我は大師と二人づれなり これが四国遍路の修行の道です
80	国分寺		31	五百森史敬	恵果より法具・経典を賜う 恵果和尚 は大師に伝法の証として健陀穀子袈裟 を贈り 仏像経典等を授与された
81	白峯寺		44	岡日菜	神護寺に住し活動 大師は大同四年(809年)入京され 高雄山寺(神護寺) に住され活動される
82	根香寺		40	千葉七衣	久米寺で大日経を講義 帰朝後 弘法大師はすみやかに弟子らを伴い大和国久米 寺 で大日経を講義された
83	一宮寺		56	秋山小姫	高野明神の加護 高野山ではもともと山の主 狩場明神 と丹生津姫命 を今もおまつりしている
84	屋島寺		35	池田涼佑	文殊菩薩と書を競う 長安 の川辺で空海が文殊菩薩 と書を競った時 龍の字 が天空に昇ったと伝う

